



女子団体決勝 盛岡二―専大北上 ダブルスでストレート勝ちした盛岡二の佐藤詩華（左）と吉田真桜＝奥州市総合体育館

女子盛岡二が連覇

男子は専大北上V11

卓球

【男子】
▽団体準決勝
専大北上 3-0 宮古商工
○渡辺 峻 3-0 阿部春輝

【女子】
▽準決勝
専大北上 3-1 一関一
盛岡二 3-0 一関二
▽決勝
盛岡二 3-1 専大北上
○鈴木姫瓜 3-1 後藤夢葉
○吉田真桜 2-3 高橋心愛
○佐藤詩華 3-0 菊池心愛
○吉田真桜 3-0 菊池心愛
○佐藤詩華 3-0 菊池心愛
（盛岡二は2大会連続2度目の優勝）

一丸で粘り抜く

女子団体の盛岡二は、専大北上の猛攻をしのぎ2連覇を果たした。「甘い球は返さない」。一人一人が粘りの卓球を貫き全員で頂点に立った。

第1、第2シングルスから激しい攻防を展開。強烈なスマッシュに耐えながら1勝1敗として、佐藤詩華主将（3年）・吉田真桜（2年）組がダブルスのコートに向かった。

「甘い球がいくと不利にな

る」。2人は丁寧な返球と相手の弱点を突くラリーを徹底し、ストレート勝ち。勢いに乗った佐藤主将が第4シングルスで快勝し、団体優勝を決めた。

前回大会、県新人大会の決勝で争ったライバルとの熱戦に、佐藤主将は「粘り強さで勝てたことで自信が増した。全国でも持ち味を發揮したい」と、チーム一丸で一戦必勝を誓った。

（高橋）



2大会連続優勝した女子団体の盛岡二

（岩手日報）